

ます。何か問題を解決するときにはまず仮説を立て、それを試しにやってみるとうまくいく、という方法です。これは良い方法です。ところがこれに問題があります。

それは仮説を立てた人の実力が 100 人中 1 番か 2 番、点数で言うところと 100 点満点中 95 点が取れるような人が仮説を立てると、良い仮説が出来るのでこれを試しに実行してみると良い結果が出ます。

ところが 100 点中 25 点とか 30 点しか取れない人が仮説を立てると、レベルが低い仮説しか出てきません。つまり自分の実力に応じてでないと仮説は出ないのです。そうすると役に立たないものを仮説に立てて試しにやってみても、良い結果は出ません。繰り返しになりますが、仮説は実力の範囲でしか出て来ないのです。

このようことから仮説検証法というのは、100 点満点中 95 点以上の高い人にとっては正しいやり方になるが、100 点満点中 70 点以下、とりわけ 30 点以下の人にとっては役に立たないのです。

なぜかという、質は高くなれば高くなるに従って見えなくなるといふ意地悪な性質を持っているからです。経営戦略の中心部分は「質の中の質」になるので、いい見えなくなります。見えないものを見えるようにするには、高い戦略実力がある人でないとできないのです。

2,500 年程前になるが中国の孔子という人が「学ばざれば暗し、学びても思わざれば危うし」と言っています。

やはり最初は良い教材を使って勉強する。そして実力

を高めて 70 点が取れるようになる。このあたりで成功体験を聞き、自分の場合はどうすべきだろうかということを考えてうまくいく、ということを行っているのではないだろうか。

この前の項目で教材の説明をしました、最終的な教材、あるいは究極の教材というのは「自分専用の教材」を作るしかありません。

本を読むと 100 冊に 1 冊～200 冊に 1 冊の割合で内容がとても良い本があります。自分にピッタリだ、自分の業種に役立つという本があります。

これはコピーし、自分の経営にとって必要でないものはカットして編集をやり直す。そのあとこれを 1 冊丸ごとナレーターに読んでもらいます。本の厚さにもよりますが 1 冊の朗読料は 20 万円～25 万円になります。

勉強すべきテーマはいくつもあるが、とりあえず大事なテーマを 10 種類ナレーターに朗読してもらおうと、250 万円～300 万円位必要になります。これは当然です。500 万円以上する高い自動車に乗っている人は何人もいます。ど、**自分の頭**に投資する人は意外に少なくなっています。

こういうことで最終的には自分専用の教材を作るという覚悟で取り組むと、最高の差別化学習法になるのではないかと挑戦して頂きたい。